



飯盛 義徳 (いさがい よしのり)

Yoshinori Isagai(Ph.D.)

慶應義塾大学

総合政策学部教授 (学部長補佐)

兼 政策メディア研究科委員

博士 (経営学)

公職など(2015年度)

- ・ 総務省 ふるさとづくり懇談会委員
- ・ 国土交通省 奄美群島振興開発審議会委員
- ・ 高知県 中山間地域活性化アドバイザー
- ・ NPO法人鳳雛塾 理事長 (ファウンダー)
- ・ 総務省 人材力活性化研究会座長
- ・ 内閣府 休眠預金等活動審議会委員
- ・ 佐賀県 地域づくりコンシェルジュ

佐賀市生まれ。長崎私立青雲高等学校、上智大学 文学部を卒業後、1987年、松下電器産業(株)入社。富士通(株)出向などを経て、1992年、慶應義塾大学大学院 経営管理研究科修士課程入学。1994年、同校修了(MBA取得)後、飯盛教材株式会社入社。1997年、常務取締役。2000年、佐賀大学 理工学部 寄附講座客員助教授。また、アントルプレナー育成スクール「鳳雛塾」を設立。2002年、慶應義塾大学大学院 経営管理研究科博士課程入学。2005年、慶應義塾大学 環境情報学部専任講師。2007年、博士(経営学)。2008年、同大学総合政策学部准教授、2014年、同大学総合政策学部教授、2015年、SFC研究所長、2017年、同大学総合政策学部長補佐、現在に至る。

専門は、プラットフォームデザイン、地域イノベーション、ファミリービジネスマネジメントなど。鳳雛塾は、日経地域情報化大賞 日本経済新聞社賞などの賞を受賞。総務省 地域づくり懇談会委員、総務省 人材力活性化研究会座長、国土交通省 奄美群島振興開発審議会委員、内閣府 休眠預金等活用審議会委員などを務める。「地域にふさわしいアントルプレナー育成モデルを目指して」、「地域情報化プロジェクトにおける事業創造のマネジメント」、「ファミリービジネス教育の可能性と課題 -慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの実践を通して-」、「地域づくりにおける効果的なプラットフォーム設計」など論文多数。著書に『「元気村」はこう創る』(日本経済新聞出版社、2007年)、『ケース・ブックIV 社会イノベータ』(慶應義塾大学出版会、2009年)、『小学生のためのキャリア教育実践マニュアル』(慶應義塾大学出版会、2011年)、『慶應SFCの起業家たち』(慶應義塾大学出版会、2013年)、『地域づくりのプラットフォーム』(学芸出版社、2015年)ほか。

(2018年04月現在)